ヘルスケアプロセス管理に関する国際標準化と個別化 Learning Health System アプリケーションの研究開発

我々は診療プロセスの管理モデルとして診療行為を最小単位としての OAT ユニット（アウトカム、アセスメント、タスク）で構造化したアウトカム志向型クリニカルパス（ePath）を開発・実装してきた。ePath により診療プロセスの可視化と効率的な解析ができ、解析結果を迅速に臨床現場にフィードバックする Learning Health System (LHS 医療の PDCA サイクル)により医療プロセス改善、医療者の負担軽減や分散型臨床試験への活用、RWD 解析の質の向上が可能となることを示してきた。本研究開発では ePath システム上で共通する OAT ユニットを介して病院情報システムにおける外来 LHS と連携した PHR 上の個別化 LHS アプリの研究開発と実証、個人の健康管理から診療支援までの相互運用性が担保された医療・健康管理プロセスモデルの国際標準の策定と国際規格化を目的としている。開発したシステムにより医療提供側と個人側の医療健康情報を統合的に扱うことが可能となり個別化 LHS が促進され、診療の質の向上、生涯にわたるヘルスケアプロセス管理への応用とヘルスケア産業全体のイノベーションの促進が期待される。

